

## 令和2年度エイズ予防財団助成事業実績報告書

実施団体	特定非営利活動法人 スマートらいふネット
実施事業名	外国人受検者のための優しい多言語対応の”常設夜間休日HIV等検査相談事業”
団体代表者	毛受 矩子
事業の目的	外国人受検者は年々増加傾向にあり、HIV陽性率も高いものがある。感染不安を持ちながら日本語が話せない外国人でも、通訳付きの検査日を設定する事により、安心して受検ができ、HIVの早期発見、早期治療に繋げる事ができる事を目的とした。
事業の達成度	<p>&lt;取り組みの概要&gt; 現在の夜間休日検査日の内「第4日曜日の即日検査日を外国人通訳付きの検査相談事業日」と設定して年間8回予定し、全て実施できた。コロナ禍の中でZoom活用のリモート外国人通訳付き検査相談として実施した。8回とも外国人受検者の満足度は高いものがあった。外国語は昨年度受検者の中で国籍が最も多かった上位から「英語・中国語」を通訳とした。なお、2020年度コロナ禍の中で受検者も前年度の6割と減少したが外国人受検者は前年度より増加し約9%となっている。他多言語対応の必要性ありの時はポケットク活用で検査を実施した。今後大阪万博を迎えてより外国人受検者は増加傾向にあると推測している。</p>
事業実績	<p>対象となった人数(実質)</p> <p>&lt;8回で実施できた外国人通訳付き検査相談受検者人数&gt; ①Zoom活用のリモート外国人通訳付き検査相談事業8回の受検者は12名が実施できた。(内訳は英語7名、中国語5名)併せて第4日曜日族実検査設定日以外に、外国人のHIV検査陽性告知があり、直接通訳付き陽性告知ができた。(英語1名、インドネシア語1名) ②併せて、今後の事業展開にむけて、定例検査受検者の中で、同意が得られた外国人受検者に「夜間休日検査についての感想」の依頼をした。44名の感想が回収できた。(内訳は22ヶ国で多い順はフィリピン、ベトナム、中国人であった。感想を書いた44名中でMSM17名(39%)があった。意見は「もっと通訳付きの検査をしてほしい。安心して受検できた。友人に勧めたい。」等々であった。</p>
	<p>具体的な活動内容</p> <p>活動内容 ①広報:「日本語が話せない方のための通訳付き無料・匿名HIV検査」案内ビラ作成 ②行政との調整会議 ③案内ビラの広報依頼先:行政、教育機関、他NGO.NPO)、受検者への案内配布、検査会場に張り出し ④スマートらいふクリニックのHPに掲載:下のHPのバナー参考 ⑤エイズ予防財団作成:You Tube動画「赤リボンちゃんが「やってきた、大阪HIV検査」にて紹介 ⑥NPO「CHARM」との通訳業務委託打ち合わせ会議3回実施 ⑦Zoomによるリモート通訳付き検査8回実施。対象者は12名あった。併せて別日ではあるがHIV陽性者告知場面に直接通訳として英語、ベトナム語で実施した。 ⑧但し今年度コロナ感染拡大のため研修等多数が参加するイベント内容は中止とした。 ⑨2021年度4月より即日検査に予約制システム導入を取り組んできた。そこで「言語」選択項目も入れてきている事から今後は外国人検査取り組みの進展に繋がると考える。</p>

